

## 若年者の職業生活設計

若年者の職業生活設計に関する「これまで」の考え方では「どちらとも言えない」が最も多かったが、「今後」については「自分でよく考える」が最も多くなっている。特に25-34歳層では全年齢平均と比べてもこうした傾向が強くなっている。

